

大会開催にあたって

今年度の研究大会は、11月8日(土)・9日(日)、専修大学神田キャンパスに会場をお借りして開催されます。開始時間は、両日とも9時となります。ご注意ください。

一般研究発表はかなりの応募者がありましたが、聴講者を集中させるためにあえて3会場で行うようにしました。二日目の午後にもひとコマあります。今年も北欧現象学会から参加希望されています。

初日14時半から、韓国現象学会のS.G. アン氏に、「意識の統一と自己」というタイトルで特別公演を行っていただきます。

初日のシンポジウムは、本会30周年を記念しまして、「日本の現象学への問いかけ」というテーマで、M.S.C. シューバック氏、張政遠氏、H.P. リーダーバッハ氏に提題していただきます。西田幾多郎や和辻哲郎など日本の現象学について論じられます。

二日目の午後は、メルロ＝ポンティ生誕百年を記念したワークショップを行います。藤本一勇氏、榊原達哉氏、川瀬雅也氏に、それぞれ、デリダ、レヴィナス、アンリと関係づけながらメルロ＝ポンティの現代的意義を論じていただきます。

多くの皆様のご参加をお待ちしています。また、本会に関心をもつ非会員の方々をお誘いいただくのも大歓迎です。それでは専修大学でお会いします。

企画実行委員長

プログラム

11月8日(土)

9:00-12:15

個人研究発表(発表30分・質疑応答15分)

第1会場(1号館 / ゼミ42)

9:00 梶尾 悠史

現象主義を超えて

—フッサール現象学における直接的存在論—

9:50 小手川 正二郎(慶應義塾大学)

偶因的表現と無意識性

—『論理学研究』における<私>をめぐる一考察

10:40 植村 玄輝(慶應義塾大学)

形而上学における志向性の方法

:フッサールの『意味の理論講義』(1908)の意義

11:30 吉田 聡(東京大学)

他者と唯一性—フッサールにおける他者問題の諸層—

第2会場(1号館 / ゼミ43)

9:00 渡辺 和典(学習院大学)

論理学と存在論—若きハイデガーの論理学理解とエミール・

ラスクの「哲学の論理学」

9:50 池田 喬(日本学術振興会特別研究員)

命題知に対する発話の構成的機能について

:ハイデガー「伝達」概念の再検討

10:40 小原 拓磨(東北大学)

「私の死」と喪の経験

11:30 寺本 剛(中央大学)

環境倫理におけるヨナス倫理思想の意義

第3会場(1号館 / 会議室 13A)

9:00 佐藤 紀子(聖心女子大学)

レオン・ブランシュヴィック哲学における精神

9:50 石井 達也(京都大学)

思惟と自己性—ミシェル・アンリのコギト論

10:40 宮原 克典(東京大学)

知覚と概念

:メルロ＝ポンティの身体図式論を手がかりとして

11:30 齋藤 瞳(日本大学)

メルロ＝ポンティの言語獲得理論

—初期言語論から中期言語論へ—

第4会場(1号館 / 会議室 8A)

11:30 Timo Miettinen(北欧現象学会)

「エドムント・フッサールのヨーロッパ:境界、限界、危機(Edmund Husserl's Europe: borders, limits and crises)」

12:30-14:30 昼休み

第1回委員会(場所:1号館 / ゼミ 44)

14:30-15:15【特別講演】場所:3号館 / 303教室

講演者: S.G. アン(Ser-gweon An)氏(Keimyung University)

「意識の統一と自己(The Unity of Consciousness and the Self)」

司会:榊原哲也氏(東京大学)

5:20-18:00【シンポジウム】 場所:3号館 / 303教室

日本現象学会30周年記念 「日本の現象学への問いかけ」

講演者: M.S.C. シューバック(Marcia Sá C. Schuback)氏

(Södertörn University College) / 張政遠氏(香港中文大学)

/ H.P. リーダーバッハ(Hans Peter Liederbach)氏(関西学院

大学) / 司会:嘉指信雄氏(神戸大学)

18:00-20:00

懇親会 会場:1号館 15階ホール(会費4000円)

11月9日(日)

9:00-12:15

個人研究発表(発表30分・質疑応答15分)

第1会場(1号館 / ゼミ42)

9:00 豊田 政和(関西大学)

『デカルト的省察』における他者経験の問題性

—第5.2節から第5.4節を中心に—

9:50 信木 晴雄(旭川大学)

注意の現象学

10:40 村上 靖彦(大阪大学)

思考とは何か—フッサールの意味論を重層化し還元を裏返す

11:30 紀平 知樹(大阪大学)

自然の資本化—エコ・フェノメノロジーのための予備考察

第2会場(1号館 / ゼミ43)

9:00 丸山 英幸(京都大学)

前期ハイデガーの世界概念について

9:50 岡本 敦之(大谷大学)

ハイデガーにおける「洞窟の比喩」解釈と「転回」の思索

10:40 若見 理江(京都造形芸術大学)

頽落の動性—ハイデガーにおける「志向性」の構造

11:30 浅野 貴彦(関西学院大学)

マックス・シェーラーの連帯思想

第3会場(1号館 / 会議室 13A)

9:00 浅岡 将人

ハビトゥスと制度との間の弁証法
—ブルデュー論の現象学的展開

9:50 西岡 けいこ (香川大学)

「見る」ことから「描く」ことへ
—現前の時間から湧出する時間へ—

10:40 樋渡 河 (九州大学)

メルロ＝ポンティの真理論—時間性、合理性、根源的信念—

11:30 三河 隆之 (東京大学)

ジャンケレヴィッチの人称論

12:30-13:30 昼休み

第2回委員会 (場所: 1号館 / ゼミ44)

13:45-14:15 **【総会】 場所: 3号館 / 303教室**

14:30-15:15 個人研究発表 (発表30分・質疑応答15分)

第1会場 (1号館 / ゼミ42)

14:30 中山 純一 (東洋大学)

現象学の非主観化をめぐるフィンク-パトチカ問題

第2会場 (1号館 / ゼミ43)

14:30 西尾 大樹 (関西学院大学)

ラスクの現象学的視野と、解釈学的射程

第3会場 (1号館 / 会議室 13A)

14:30 渡名喜 庸哲 (東京大学)

レヴィナス『全体性と無限』とアレントの『人間の条件』の
交差点: 「はじまり」の時間性をめぐって

15:20-18:00 **【ワークショップ】 場所: 3号館 / 303教室**

メルロ＝ポンティ生誕100年: 現代フランス現象学から見た

メルロ＝ポンティ

提題者: 榊原達哉氏 (徳島文理大学)

川瀬雅也氏 (佐世保高専)

藤本一勇氏 (早稲田大学)

司会: 村田純一氏 (東京大学)

1 会費納入 学会費 (年間 3000 円) を同封の振込用紙にて早急にご納入ください。研究大会当日、会場においても受け付けます。封筒宛名右下の数字は、未払い年度数 (本年度分も含む) を示します。その数×3000 円をお支払いください。

2 出欠の連絡 会場準備の都合がありますので、研究大会および懇親会への参加の有無を、同封の返信用ハガキにご記入の上、10月24日(水)までに必ずお知らせください。また、返信されたハガキは名簿作成の資料となりますので、住所、所属等に変更がある場合には、その箇所に朱線をお引き下さい。

3 公式ホームページ 本学会のホームページを開設しております。今回の大会の内容も要旨等が掲載される予定です。ホームページアドレスは以下の通りです。

<http://www.soc.nii.ac.jp/paj2/>

4 2007 年度決算報告

【歳入】		【歳出】	
前年度繰越金	2,174,073	『年報』出版費	1,012,462
納入学会費	1,125,000	『年報』編集費	7,215
『年報』売上	71,270	『年報』送料	93,740
普通預金利子	385	通信費	123,668
計	3,370,728	事務局経費	105,928
【次年度繰越金】		研究大会開催費	125,185
1,754,970 円		研究大会 講師謝礼	20,000
		国際学会年会費	0
		事務謝礼	120,000
		事務局移転費	7,560
		計	1,615,758

第30回

研究大会

日時: 11月8日(土)・9日(日)

会場: 専修大学 (神田キャンパス)

日本現象学会

事務局 慶應義塾大学文学部人文社会科学哲学専攻内
〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45
Fax 03 - 5427 - 1578
郵便振替 00980-9-109153

お知らせとお願い